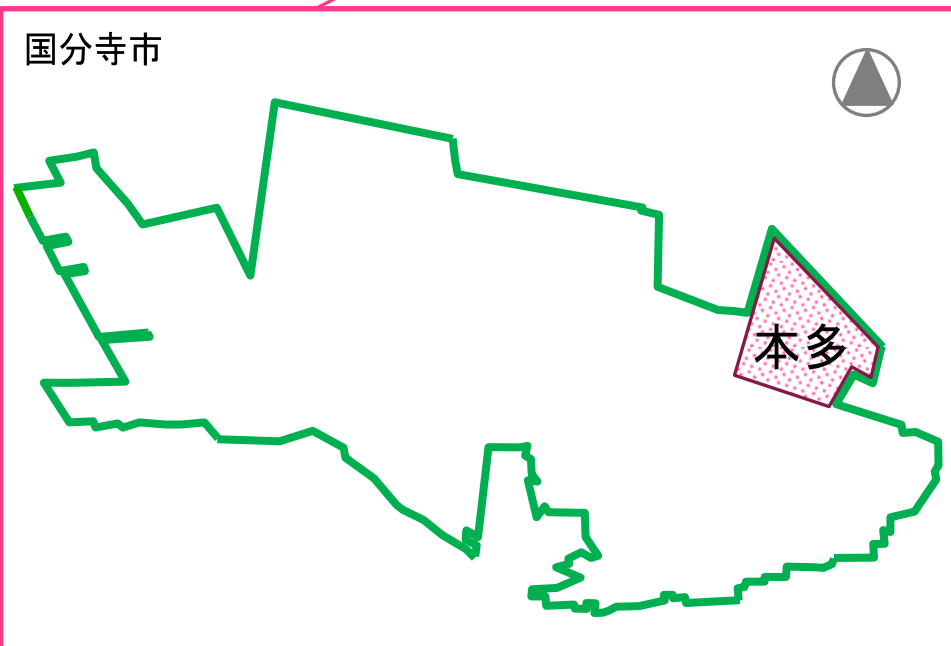
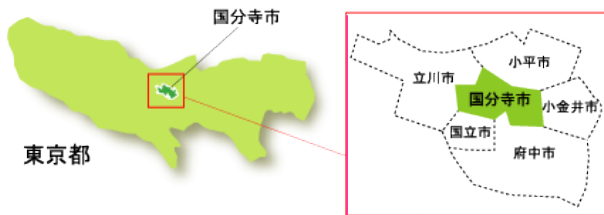


東京都国分寺市 本多連合町会 防災計画策定 ～防火対策の強化・見直し～

本多連合町会
防災委員長 堀川 弘
平成28年3月12日

《本多連合町会の概要》



国分寺市本多1丁目～5丁目

面積:約65ha

人口:約8,800人

地域内世帯数:3,050

町会会員世帯数:2,420

町会加入率:79.8%

公共施設等

- ・本多八幡神社
- ・国分寺消防署
- ・国分寺市消防団第二分団詰所
- ・市立第七小学校・第二中学校
- ・本多児童館・学童保育所
- ・ほんだ保育園
- ・本多公民館・図書館
- ・むかしの井戸
- ・公園5箇所

《延焼運命共同体(国分寺市本多)》

※加藤孝明研究室作成。推計データのため実際とは異なることがあります。

注：市境界の処理ミスのため、別の共同体になっていますが、本来、つながっています。



《国分寺市内の様子》



《見直しにあたって》

- ① 地区防災計画は昭和60年に作成済みであり、平成13年に改正、そして現在に至っている。
- ② 連合町会理事会及び防災委員会で検討、小委員会設置
- ③ 防災マップの再チェック

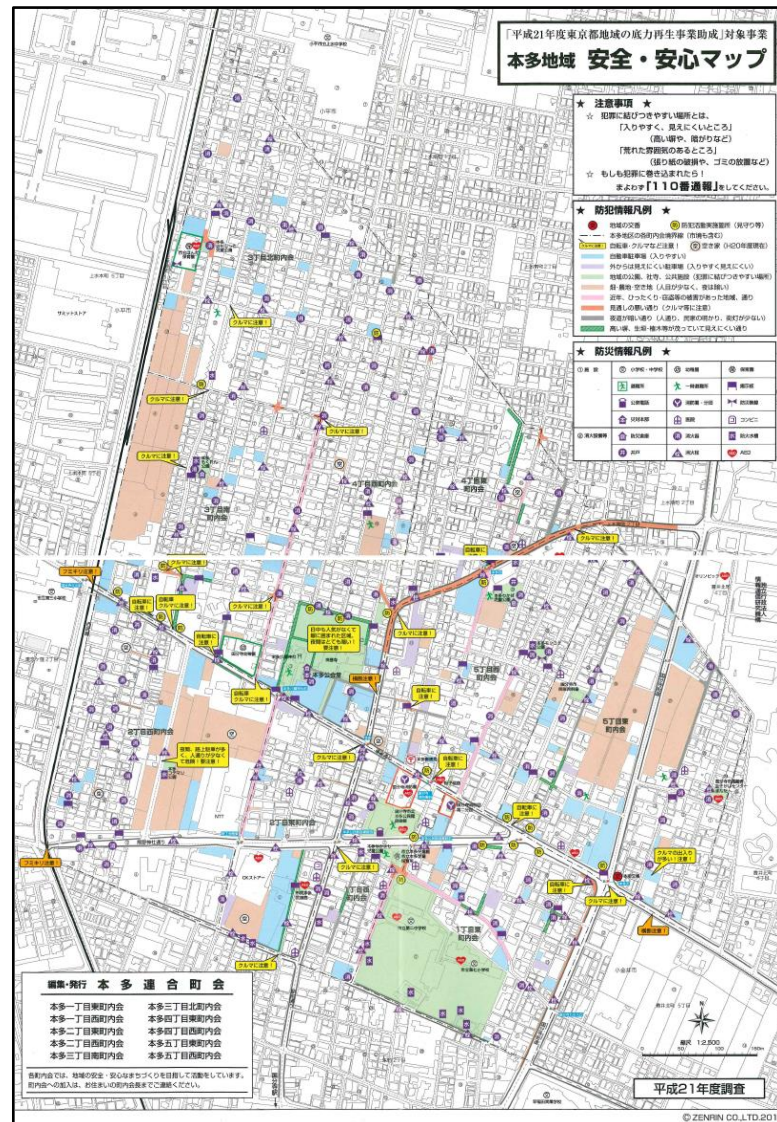
《見直しの重点取組み事項》

防火・初期消火対策の強化

〔防災計画書より、防火対策の具体化〕

【現状分析】

1. 住宅用火災警報器の点検が進んでいない
2. 消火器の点検が確実に行われていない
3. 会員の防災(防火)意識が低い
4. 高齢化により活動に支障がある
5. アパート・マンションとの連携が不足している
6. 空き家により防災／防犯に問題あり
7. ごみ放置による防火対策上の問題あり
8. 狭隘道路及び行き止まりがあり、消火活動に支障がある



《大震災による火災被害の減災に最大限の力を》

【連合町会の行動】⇒年間を通じて

- ① 防災意識の高揚対策と訓練の充実
- ② 安全パトロールの充実により抑止力を高めていく
- ③ 行政との連携
- ④ 消防署・消防団との連携
- ⑤ 福祉施設との連携により被害防止を図る
- ⑥ 近隣町会との連携
- ⑦ 町会会員以外との連携
- ⑧ 地元中学校との対応を強化する

【10町会の行動】⇒28年4月より実施する

- ① 住宅用火災警報器の全世帯設置と点検を実施(95%→100%)
- ② 家庭内電気器具の保守点検により、火災を防ぐための周知活動の実施
- ③ 放火などを防ぐためのごみ処理の徹底を図る
- ④ 消火器の全世帯設置を図る(90%→100%)
- ⑤ 火災発生時の初期消火・避難訓練の徹底
- ⑥ 安否確認表の活用(平成27年度実施済)と、自助・共助・近助の連携確認

《結びにあたって・・・今後の展望》

災害を止めることはできない・・・

しかし、被害を減らすことはできる

地域防災力を高める

ことで克服できる

それは、

まちづくりの展望を示し



地域コミュニケーションを高めていく